

オンライン開催

# 「農山漁村」官民共創実践セミナー

参加費  
無料

要事前  
登録

2025/3/27 (木) 13:00~14:30

本セミナーでは、農山漁村の課題解決に向けた官民共創による事例創出(※)を通じて得られた官民共創の実現に関するノウハウを**実践ガイドブック**をもとに解説いたします。  
※農山漁村情報発信事業では熊本県内の市町村が抱える農業・農村の課題に対して、民間企業等が有するソリューションとのマッチングを実施しました

## セミナー内容

- 1 なぜ、いま、「地方創生2.0」なのか  
～官民共創による農山漁村の活性化～
- 2 農村における官民共創の進め方  
～官と民それぞれが留意するポイント～
- 3 地域の課題解決に資する施策  
～活用シーンに応じたアプローチの検討～
- 4 官民共創のマッチング事例の紹介  
～農山漁村情報発信事業をもとに～  
※事例の詳細は裏面をご参照ください

## 開催概要

### 登壇者

- ・合同会社Sora代表 宗村 美里氏
- ・八代市役所 農林水産部  
農林政策課 課長補佐 篠原 秀和氏
- ・株式会社はたらこらぼ  
代表取締役 日下 章子氏

### 対象

- ・「地方創生2.0」を農村で実現したい自治体、企業
- ・農村でのビジネス展開を考えている企業
- ・農業・農村における官民共創の具体例を知りたい方
- ・その他、「『農山漁村』経済・生活環境創生プラットフォーム」に(なんとなく)興味がある方

## お申込みについて

【申込締切】2025年3月26日(水)

【申込方法】右の二次元コードを読み取り、申込フォームからお申込みください。

【申込フォーム】 <https://forms.office.com/r/QTnczUZx7B>



# 様々な分野の課題に関するマッチング事例を紹介します！

課題の分野	課題・取組の概要
農業/ 販路拡大の支援	耕作放棄地の解消を目指すためにそばを栽培している地域において、自治体と外部企業が連携。栽培方法や品質など、作り手目線では気付きにくい魅力を整理するとともに、高品質なそばを求める卸先を紹介する等のサポートを実施
空き家/ 相談体制の強化	増加する空き家の相談に対処すべく、既存の体制を活かしつつ、豊富な経験を有した民間企業からのソリューション提供が可能になるような体制を目指し、自治体とともに検討
農業/ 販売戦略の立案	特産品（菜種油など）の販路を域外に拡大するため、商品デザインの検討やマーケティング支援、販売先への取次等を一気通貫で支援する仕組みを構築
まちづくり/ コミュニティの再生支援	若年層の町外流出・超少子高齢化による中山間地のコミュニティの衰退に関連する諸問題に対して、自治体による事業検討を促すような外部目線の助言が得られる仕組みを検討
人材/ 人材のマッチング支援	農業における人材確保を安定させるため、自治体と企業とが連携して、地域内の人材マッチング、人材派遣の仕組みづくりを検討し、人的リソース不足の解消を計画

## 「農山漁村」官民共創 実践ガイドブックとは？

令和6年農山漁村情報発信事業において熊本県内の市町村と全国の民間企業等との間のマッチングを基に、自治体と企業それぞれが留意した点、活用し得る施策、実際の取組事例を取りまとめました。

本セミナーではガイドブックに基づいて、農山漁村の課題解決に向けた企業との官民連携の取組の詳細をご紹介します！

## ガイドブックイメージ

- 官民共創に向けた取組事例や取組のポイント等についてご紹介



## 「農山漁村」経済・生活環境 創生プラットフォーム」の ご案内

令和7年2月、農林水産省は、「地方創生2.0」の一環として、関係府省庁、地方公共団体、民間企業等が参画する『「農山漁村」経済・生活環境創生プラットフォーム』を立ち上げております。

農山漁村での地方創生に関心がある方は、積極的なプラットフォームへのご加入をご検討ください！

**【プラットフォームの参加対象者】**

地方公共団体、民間企業等

## お申込み・詳細はこちら

**【農林水産省HP】**

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/241224.html>

**【申込二次元コード】**



その他の官民共創による農業・農村の課題解決のための取組については農林水産省HPをご覧ください

[https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanmin\\_kyousou.html](https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanmin_kyousou.html)